

社協 みなみ

■発行日：令和3年2月1日

■発行：社会福祉法人 横浜市南区社会福祉協議会 会長 大津 幸雄

〒232-0024 南区浦舟町3-46 浦舟複合福祉施設8階

Tel. 045-260-2510 Fax. 045-251-3264 Mail. tomony@minami-shakyo.jp

http://www.minami-shakyo.jp

南区社会福祉協議会は、誰もが住みなれた地域で安心して暮らしていくために、ボランティア、福祉・保健関係者や行政の協力を得ながら地域の福祉活動を進め、またその活動を応援する組織です。

「コロナ禍でのつながり作り」 ～新たな形で再出発!～

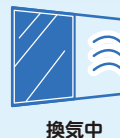


新型コロナウイルス感染拡大により様々な地域活動が制限を受けるなか、新たな形で活動再開する方たちが多くいらっしゃることに皆さんご存知でしょうか。今までの方法にとらわれず、メンバーで話し合うことで、地域や仲間とのつながりを絶やすことなく活動を再スタートしている一例を紹介します。

活動再開に向けてこんなことに気をつけています! (対策・対応)

●感染防止対策を徹底しています

- ①前後左右の座席と適切な距離を設け、利用人数に余裕を持ったスペースを確保しています。
- ②会場の窓をすべて開けるなど換気に配慮しています。
- ③マスクの着用や手洗い、手指の消毒の徹底の他、使用した物品の拭き取り消毒を心がけています。



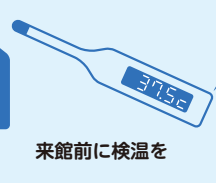
●自分や家族の健康を第一に

地域の皆さんに安心して参加していただけるよう、活動者本人だけでなく家族も含めて健康管理に努めています。

地域みなさまへ

新型コロナウイルス感染拡大対策にご協力をお願いします

- ・マスクなどの着用による飛沫対策をお願いします。
- ・手洗いや手指の消毒をお願いします。
- ・参加当日は、来館前に検温をお願いします。
受付時に体温・体調確認をさせていただきます。
- ・体調不良（発熱・咳など）の方、家族などに新型コロナウイルスの感染のおそれがある場合は、参加をお控えください。



私たちは新しい「つながり方」を考えています。

こんな時だからこそ、「ひと」とつながる・「地域」とつながる。
孤立を防ぐため、会えなくても集まらなくても、つながる工夫を考えています。
もう一度みんなで笑顔になれる、新しいつながりについて一緒に考えてみませんか。

Message

2 ページでは、第 80 号に引き続き、4 つのポイントをふまえ、地域での活動を再開した事例について紹介します。

南区でも形を変えて再開しています!

六ツ川地区「カフェとおりみち」/本大岡地区「大岡川ふれあいサロン」をご紹介します!



新型コロナウイルスに負けず 地域で元気に活動しています！

歌と体操でつながる場

本大岡地区「大岡川ふれあいサロン」



「大岡川ふれあいサロン」は、身近に足を運べるサロンが欲しい！との地域の希望のもと、15年前にスタートした高齢者食事会サロンです。コロナ禍で活動が一時ストップしましたが、「高齢者が気軽に外出する場がなく、体調の衰えが心配」と、担い手の声が多く上がり再開となりました。活動開始までに、事前アンケートやお手紙を通して、参加者の状況や意向を確認するなど、新しい方法を取り入れて連絡を取り

合ったことにより、再スタートにたどり着くことができました。

現在は、原則毎月第2金曜日（8月・2月除く）に実施し、感染予防の対策を取りながら活動を継続しています（お弁当は中止しています）。代表の方からは「これまでのような、サロンと地域の小学校との交流もできないのが残念だが、今までとは違う形でもつながり合える方法を考えていければいい」と前向きなお話も伺えました。



誰もが尻込みしちゃうこの状況でも
「必要な活動だからやる！」
前向きな強い気持ちに
とても勇気づけられたね。

コロナ禍で参加に不安な人の気持ちを大切にしつつ、皆が楽しめる居場所を提供していきたいとの思いをもって取り組まれていました。

肩ひじ張らずにおしゃべりできる場

六ツ川地区「カフェとおりみち」



『カフェとおりみち』は、孤立する人たちがつながり、集える場所をつくりたい！との思いのもと、地域の誰もが気軽に立ち寄り、仲間とつながり合える場づくりを目的に活動しています。

2月～6月の期間中はコロナウイルス感染防止のため休止としていましたが、高齢者の引きこもりによる健康面の心配を多く耳にし、このま

まではいけない！と担い手の思いが1つとなったことが再開の第一歩となりました。

現在は十分なスペースを確保するために会場を変更し、1人で参加するのに不安な方には送迎を行うなど、担い手の抜群のチームワークを活かし、できることから少しずつ、と形を変えながら原則毎月第2水曜日の活動を再開しています（家族会では、懇談会の中で講演も実施）。

参加者も担い手もお揃いのTシャツを着ている様子は、まさに「皆が同じ目線でつながり合うこと」を体現しているよう。淹れたてコーヒーのよい香り漂う『カフェとおりみち』。代表からは「認知症を持つ家族を支援する活動にも力を入れていきたい」と今後の目標について素敵なお話が伺えました。

それぞれの得意分野を持つ担い手さんの工夫いっぱいのサロンだね。より多くの人に活動についてしてもらい、コロナに負けず活動を継続してほしいなあ。



南区社協からのお知らせ・ご報告



令和3年度 南区ふれあい助成金説明会を開催します



コロナウイルス感染拡大状況によっては、開催中止・変更する場合がございます。

令和3年度南区ふれあい助成金(トモニー助成金)説明会を開催します。申し込みには、この説明会の参加を必須としますので、**必ずご出席ください**。出席者につきましては代表者や連絡担当者の方以外でも可能ですが、**1団体1名以内**でお願いします。(出来る限り実際に申請書を作成される方の出席をお願いします)

【対象団体】

南区内で活動する市民活動団体、障がい当事者および家族団体。

【対象事業】

- 複数の横浜市民を対象とする、南区内で行う地域福祉の推進を目的とした非営利な事業。
- 横浜市・南区、または横浜市社会福祉協議会などからの補助を受けていない事業。

※親睦のみを目的とする事業、主に自助を目的とする事業は対象外とします。

【助成の制限】

- 申込は1団体1事業とします。
- 食料費・イベント等の飲食経費、個人に帰属する物品購入費は助成対象外となります。

問合せ
南区社会福祉協議会
TEL: 260-2510
FAX: 251-3264



◆日時: 令和3年3月4日(木) 10時00分～
14時00分～

令和3年3月5日(金) 10時00分～
14時00分～●
18時30分～

令和3年3月6日(土) 10時00分～
14時00分～

※定員 30名

※●は新規申請者向けの説明会になります。制度について詳しく説明します。

※●以外は同内容の説明会になります。

◆場所: 南区福祉保健活動拠点「トモニー」 団体交流室

◆申込み: 希望日前日正午までに、お電話、もしくは、専用メールアドレスにてお申し込みください。

※定員に達した場合は、ご希望に添えない場合がございます。

※助成金専用アドレス(josei-minami@yokohamashakyo.jp)

◆手話通訳者をご希望される方へ

※手話通訳をご利用する方々は、2月5日(金)までにお申し込みください。(先着順)

賛助会員にご加入いただきありがとうございました

地域活動やボランティア活動等の一部には、行政からの補助金や共同募金などが使われています。しかし、活動を安定・充実させるためには、それらの財源だけでは十分でなく、「地域ぐるみの応援」が必要となります。南区社協では、世帯(個人)、法人・団体に賛助会員にご加入いただいており、令和2年12月末日現在3678,000円ものご協力をいただきました。ありがとうございます。引き続き皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

賛助会員寄付者 ※敬称略

・長谷川商事(株) ・石川 良夫

令和2年度 日赤会費募集にご協力ありがとうございました

12月末日現在、南区地区委員会に寄せられました会費は12,007,049円です。主に区内の火災等の被害者へのお見舞金や地域の防災活動費、国内外の災害援助活動等の資金として使わせていただきます。

南区福祉功労者感謝の会

南区の社会福祉向上のために尽力・貢献された方々に感謝の意を伝えるため、南区社会福祉協議会と南区役所主催で「南区福祉功労者感謝の会」を11月13日(金)に実施しました。

今年度は、12名の個人と2団体の方々が受賞されました。

授賞式後、区長、会長、受賞者、推薦者の方と写真撮影を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から縮小での開催となりましたが、和やかに終えることができました。

善意銀行寄付者

(R2年10月1日～12月31日) ※敬称略、順不同

・大場 章雄
・浜
・手芸ボランティアすずらん
・神奈川県土建一般労働組合横浜中央支部
・横浜太極拳同好会
・電門炭治郎・日野あかね
・鈴木 正光
・木村 真由美
・井土ヶ谷中一和幸会
・電門炭治郎・黄瀬やよい

編集委員紹介(アイウエオ順): 飯野忠明・上野隆子・大八木綾子・小川正治・佐藤英子・永井正己

●「社協みなみ」の発行費は、共同募金配分金を活用しています。

ボラぴ!!

no.34

「ボラぴ!!」のぴは
ピッピッと感じるアンテナ
ピースのぴ
ぴかいちのぴ
Pit inのぴ



それから...

南区ボランティアセンター

南区浦舟町3-46 浦舟複合福祉施設8階

Tel. 260-2531 Fax. 251-3264

◆開館：年末年始をのぞく午前9時～午後5時◆
(日・祝祭日も開館しております)

Withコロナで活動再開!

ボランティア連絡会

ボランティア連絡会は緊急事態宣言中もオンラインを使用して活動していた団体、まだ活動が再開できない団体等活動状況は様々ですが、団体間で情報交換をしながら、今できることに取り組んでいきたいと思ひます。来年度は結成40周年を迎えるので、記念誌作成等の準備も進めています。

本年度のボランタリーフェスタは
コロナウイルス感染拡大防止の
ため中止とさせていただきます。



定例会冒頭のラジオ体操

南区災害ボランティアネットワーク(※以下、災ボラ) ～コロナ禍での災害に備えてインターネットの活用～



南区災ボラは緊急事態宣言期間に運営委員会を開催できませんでした。しかし、災害はコロナだからといって待つてはくれないので、今後集まるのが難しくなっても話し合いができるようにと9月の運営委員会で「かながわ災害情報連絡会」から講師を迎えてZoomの使い方研修会を行いました。参加者は講師や補助者の助けを得ながら自分のノートパソコンやスマートフォンからZoomに接続し、自宅から参加したメンバーと会話。現在はZoomを併用して運営委員会を行っています。

また、講師の吉田氏が所属する葉山災害ボランティアネットワークのFacebook広報準備や、コロナ禍で発生した令和2年7月豪雨でのグーグルフォームやQRコードを利用したボランティアが密にならないボランティアセンター運営等の事例紹介がありました。

パソコンやスマフォンの活用は専門知識がないと難しいと思っていましたが、災害ボランティアネットワークメンバーを対象とした勉強会があるそうなので積極的に参加していきたいと思ひました。



Kokua (コクア) 出前講座

南区災ボラ(10月)、ボランティア連絡会(11月)で開催しました。「コロナをやっつけるためのあたらしい おやくそく7」は外出時や家庭内で気を付けるべき点7つをわかりやすくまとめてあり、ビデオ「みんないっしょ」では、Kokuaのメンバーの障がいのあるわが子の日常生活と、障がいの有無にかかわらず「災害時」皆が安心して過ごせるためのアイデアが紹介されていて、どちらも多くの方に知ってほしい内容でした。興味のある方は、下部連絡先へお気軽にお問合せください。



ボラメイト

障がい理解啓発グループ

「Kokua(コクア)」代表 根本益子

障がい児者の将来を考える会「泉の会」の有志で構成され、疑似体験を通して、障がい児者の気持ちを理解していただけるよう、地域に出向いて啓発活動を行っています。

「Kokua」はハワイ語で「助け合う」「協力し合う」という意味です。障害があっても、なくても、理解し助け合って暮らしたいという願いを込めています。

南区内で活動するボランティア仲間(メイト)を紹介します



災害ボランティアセンター運営シミュレーション ～情報伝達訓練～

12月11日(金)トモニーにおいて、地域防災拠点からのボランティア依頼が災害ボランティアセンター情報班に届くまでの情報伝達訓練をトランシーバーで行いました。

ボランティアを派遣するために必要な情報を依頼者から漏れなく聞くこと、普段使い慣れていない機器で相手の言葉を正確に聞き取って書きとめることの難しさを感じました。

